

人はみな、
生かされて
生きてゆく。
更生保護ネットワーク

薩摩保護区保護司会 広報紙

2017
8月
第3号

保護司会だより

編集・発行：薩摩保護区保護司会 薩摩川内市・さつま町 薩摩川内市大小路町14番5号（薩摩川内市中央公民館内） ☎0996-41-6196 FAX 0996-41-6196

「社会を明るくする運動」で
犯罪や非行のない
地域社会を



薩摩保護区保護司会
会長 田中 実
（たなか みのる）

「社会を明るくする運動」は犯罪や非行のない地域社会を作る運動で法務省が主唱し毎年七月を強調月間として全国で展開をされ、鹿児島県推進委員会・地区推進委員会であるに活動して本年は67回目を迎えます。今年も地方公共団体を含む国民の皆様にも、犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラを活動目標として再犯防止に向けた取組や本運動に対して理解を求める内閣総理大臣メッセージが出されました。

薩摩保護区では毎年出されるこのメッセージを首長に直接渡す伝達式を行っています。薩摩川内市の岩切市長とさつま町の日高町長にはいつも協力を頂いています。

具体的な活動は保護司会・更生保護女性会・BBS会が協力して街頭キャンペーンや各地区でミニ集会等を開催して周知啓発に努めています。さつま町では中学生も参加した街頭キャンペーンが毎年実施されています。

このように保護司は犯罪や非行のない明るい社会づくりの啓発活動も行っています。現在我が保護区は83名で活動していますが定年制もあり活動を維持していくには保護司の安定的な確保も大切なことです。そのために「保護司候補者検討協議会」を設置して地域の事情に精通した様々な方々の協力を得たり、一般の地域住民、地域の関係機関・団体に所属する人、更生保護女性会やBBS会等の更生保護団体に所属する人等を対象に、保護司会が主体となって実施する地域活動等に参加して保護司活動を体験してもらうことで地域の人の理解を深め、ひいては保護司適任者の確保につなげることを目的に、「保護司活動インターンシップ制度」も平成28年度に始めました。

薩摩保護区でも「保護司活動インターンシップ制度」を活用して、年に四回実施している定例研修会や、各地区で随時行っています。地域外遇会議等に参加して頂いて保護司活動を体験していただくを行っています。

（インターンシップ制度に興味のある方はサポートセンターに御問い合わせ下さい。）

更生保護：立ち直りを支えるしくみ

罪を犯した人たちの立ち直りを助け、再び犯罪や非行に陥るのを防ぐしくみを更生保護といいます。

更生保護ボランティアとしての
直接的な支援

地域社会に
復帰

地域の人たちの理解と協力

保護司としての支援

保護司は、刑務所や少年院から出て「保護観察」を受けることになった人などを指導し、相談にのったり、様々な支援を行う民間のボランティアです。

住居が必要

地域との
絆が必要

仕事が必要

「社会を明るくする運動」に参加する。

刑務所や少年院、職業訓練などで
作ったものを購入する。

更生保護ボランティアを支援する。

協力雇用主や更生保護
施設の職員として支援

更生保護女性会員やBBS
会員として支援

罪を犯した人の立ち直りを見守り、
彼らの存在を受け入れる

次の様な事に利用できます。

1. 地域住民からの犯罪・非行に関する相談の窓口
2. 地域における関係機関・団体との連絡・協議
3. その他更生保護に関する活動（ご相談下さい）

所在地	薩摩川内市大小路町14番5号（薩摩川内市中央公民館内）
名称	薩摩地区更生保護サポートセンター（薩摩保護区保護司会事務局）
電話	0996-41-6196
FAX	0996-41-6196

薩摩保護区さつま支部の活動について



さつま支部長
新改 幸一
しんかい こういち

私達、さつま支部は会員十七名(男性十三名女性四名)で、保護司活動を行なっています。全国保護司連盟総会において制定されました保護司信条は私達、保護司が社会奉仕の精神を常にもって

- 一、公平と誠実を旨とし、過ちに陥った人たちの更生に尽くします。
- 一、明るい社会を築くため、すべての人々と手を携え、犯罪や非行の予防に努めます。
- 一、常に研鑽に励み、人格識見の向上に努めます。

この事を、日々に受け止め保護観察所の指導、研修会に参加しております。先日、七月一日には、社会を明るくする運動で、中学校の生徒三八名の参加を含め各関係協力団体と街頭キャンペーンを実施した所であります。中学生の参加の街頭キャンペーンは県内でも数少ない、すばらしい事例であります。教育委員会の指導にも深く感謝申し上げます。又毎年、教育委員会、中学校長先生、更生保護女性会の役員の皆さんといっしょになり青少年健全育成の話し合い活動も恒例になりました。今年からさつま警察署長も参加して頂けるよう計画しております。近年、社会



問題となっており、薬物乱用事件も地域社会の大きな課題でもあります。我が地域には、そんな事は関係ないと思っている人々もいらっしゃるかも知れませんが、薬物乱用の元になるケシの花等は北薩地方が県内でも一番多く、自生しているとの事を研修会で説明を受け、早速、町広報紙で掲載して頂き危機管理の啓蒙も行なってもらいました。犯罪予防のため又、社会全体の問題として、青少年健全育成問題等、地域住民の方々と協力しながら、更なる努力をして参りたいと思っております。今後共、保護司会、更生保護女性会の役割等、御理解を賜わりこれまで以上の御協力をよろしくお願い申し上げます。

内閣総理大臣メッセージ

第67回 “社会を明るくする運動” ～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～ の推進に当たってのお願い

“社会を明るくする運動”は、全ての国民が、犯罪や非行の防止と、あやまちを犯した人の立ち直りについて理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な地域社会を築くための全国的な運動です。

安全で安心な国づくりのためには、犯罪や非行をした人を地域から排除したり、孤立させるのではなく、適切な「仕事」や「居場所」の確保を通じて、責任ある社会の一員となるよう支えていくことが大切です。立ち直ろうとする人にとっては、地域の方々を始め、地方公共団体や様々な機関・団体による支えが何より重要であり、励みとなります。

昨年12月には、再犯の防止等の推進に関する法律が成立し、施行されました。この法律の趣旨も踏まえ、国、地方公共団体、民間が一体となって、犯罪や非行をした人の立ち直りに向けた取組を推し進めることが重要です。



国民の皆様には、“社会を明るくする運動”と再犯の防止に向けた取組の社会的意義を御理解いただき、犯罪のない幸福な社会づくりに取り組む決意のしるしである「幸福の黄色い羽根」のもと、様々な分野から、多くの方々に御参加いただきますよう御協力をお願いします。

平成29年7月
内閣総理大臣

安倍晋三



鹿児島県保護司会
連合会会長賞(優秀賞)受賞

明るい社会をめざして

薩摩川内市立亀山小学校四年

松永 賢志郎

ぼくは毎日を楽しくすごしている。習い事でフットサルをしていてそのおかげか三年生の時からまだ一度も休んでいない。学校で一番楽しい時間は昼休みだ。ごちそうさまの言葉と共にみんながわあっと外にでる。そしてサッカーやバスケットなど自分たちのやりたい事をする。放課後の遊びはもっと楽しい。友達の家か

公園にあつまりみんなで遊びにむ中になる。これがぼくの「明るい社会」だ。だが一度テレビをつければぼくの知らない「暗い社会」が見えてくる。外国で起こるテロや戦争、そしてさつ人事けんなどとてもおそろしい事がいっぱいだ。

ぼくはこの社会に表とうらがあると思う。

「明るい社会」が表、「暗い社会」がうらだ。ぼくはどうすればひ行やはんざいなど「暗い社会」に走る人を止めることができるか考えてみた。

つい最近、ぼくは家族にうそをついてだましてしまった。表ではちゃんとしているようにみせかけて、本当はしっかりしていなかった。そんなうそを何回もつづけた。これが悪い事だということはしっかり分かってはいたが、やめることはできなかった。そしてとうとうそのうそがばれてしまった。ものすごくおこられる、と思いながらすわったが、父さんと母さんはあまりおこらずちゃんとぼくの話聞いてくれた。そしてこれからがんばりなさいとゆるしてくれて。今まで数えきれないほどおこられてはいるが、いつもゆるしてくれ。きつと反せいした自分に期待してくれているんじゃないかと思う。だから期待にこたえられるようにがんばらなくちゃ、と気合いが入る。

このようにぼくにはい場所がある。

何でも話す事ができる家族と、楽しく遊べる友達がいる。ひ行に走る人を出さないためには、い場所を見つけてあげることが一番だと思う。一人ぼっちでいる人には声をかけてあげたり、なやんでいる人には相だんに乗ってあげたりしてひ行に走る人をへらしていく、これがぼくたちの出来る事だ。とても小さな事だけど、たくさんの人を正しい進路にみちびく事が出来る大切な事だ。

「明日は学校でどんな事があるかな、どんな事をしようかな、楽しみな、早く明日にならないかな。」と思えるようになれば大成功だ。

ぼくが思う「明るい社会」は表とうらが無い社会だ。意見がちがってもいい、けんかしてもいい、完ぺきじゃなくていい、間ちがってもいい、すなおになることが大事なのだ。ぼくは、そのためにまず明るい家庭を作り、家族で話し合う場をもうけたいと思う。この「明るい社会」を作ってくださっているさまざまな方々に感しゃして、「暗い社会」にならないように自分のできることをど力していきたい。



◎保護司とその活動

保護司とは、保護司法に基づいて法務大臣から委嘱された非常勤の国家公務員ですが、実質、民間のボランティアです。罪を犯した者や非行のある少年に対し、地域における立ち直り支援や再犯防止のための活動を行っています。その他、地域社会における犯罪や非行の発生を予防するための活動(犯罪予防活動)も実施しています。

保護司は、保護観察だけではなく、地域住民の一人として、地域社会の安全・安心に貢献するという理念のもと、一般の地域住民からの相談を受けたり、学校や地域の防犯活動団体との連携・支援を行ったりするなど、地域ニーズに応じて幅広く活動しています。

地域社会の連帯意識が希薄となり、治安が悪化していると感じる国民が増える中、地域に根ざした保護司の活動は、地域連帯を再生し、安全・安心なまちづくりに寄与しています。本市においては、再犯防止に日々努めている保護司会の活動拠点として、「薩摩地区更生保護サポートセンター」を開設し、住民からの犯罪・非行に関する相談窓口や地域における関係機関・団体との連絡・協議などを行っています。

平成29年度薩摩保護区保護司会理事役員名簿

支部名	役職名	氏 名	学校連絡保護司
南	会 長	田 中 実	れいめい中
東	副会長	村 原 政 和	黒木小、祁答院中
東	副会長	永 山 伸 一	東郷小、東郷中
北	事務局長 サポートセンター長	福 山 義 幸	亀山小、川内北中
南	会 計	加治屋 卓 朗	平佐西小、平佐東小
北	北支部長	伊 東 正	育英小、川内北中
南	南支部長	鹿子木 努	平佐西小
東	東支部長	瀬戸山 義 弘	樋脇小、樋脇中
西	西支部長	蔵 元 保 海	中津小、上甌中
さつま	さつま支部長	新 改 幸 一	盈進小

支部名	役職名	氏 名	学校連絡保護司
南	犯罪予防部長 駐在保護司	野 平 誠	川内中央中
東	協力組織部長	田 代 幸一郎	東郷小、東郷中
南	研修部長	松 元 邦 明	川内小、川内中央中
東	総務部長	初 田 健	入来小、入来中
南	社会貢献活動部長	久木野 勲	隈之城小、川内南中
北	理 事	宮 田 修 一	育英小、八幡小、川内北中
さつま	理 事	山 下 英 雄	盈進小
さつま	理 事	徳 留 昇	山崎小、山崎中
北	監 事	小田原 勇次郎	可愛小、川内北中
さつま	監 事	小椎八重 巳 年	宮之城小

平成29年度薩摩保護区保護司会学校連絡保護司名簿

支部名	氏 名	学校連絡保護司
南	宮 田 羊 子	永利小
南	尾 曲 祐 一	隈之城小、川内南中
南	井 上 光 男	峰山小、高江中
南	若 田 吉 朗	平佐西小、川内中央中
南	永 留 博 文	川内南中
南	藤 崎 睦 子	隈之城小
南	西 一 徳	永利小
南	右 田 健 二	川内南中
南	木 場 宣 行	高江中
南	有 馬 貞 喜	平佐西小
南	中 内 カ ネ	川内小
南	山ノ内 文 夫	峰山小、高江中
南	吉 内 孝 徳	川内小
南	中 川 一 朗	隈之城小、れいめい中
南	軍 神 利喜男	川内中央中

北	田 中 晴 樹	可愛小
北	三 浦 美 幸	育英小
北	斎 藤 治 城	八幡小
北	山 元 昭 子	高来小、平成中
北	尻無濱 一 喜	育英小
北	神 田 隆 美	育英小
北	亀 田 信 暁	水引小
北	大 村 恵美子	水引小、水引中
北	石 田 幹 雄	水引小、陽成小
北	川 畑 明 則	水引小、水引中
北	加 藤 信 行	亀山小
北	黒 屋 善 文	亀山小
北	下 園 絹 子	陽成小
北	大 園 喜一郎	育英小、八幡小
北	檜 木 敏 文	水引小、水引中

支部名	氏 名	学校連絡保護司
東	中 村 健一郎	東郷小、東郷中
東	山 下 浩 一	東郷小、東郷中
東	上 戸 勇	東郷小、東郷中
東	堀 内 伊津子	副田小、入来中
東	村 岡 文 正	朝陽小、入来中
東	大 田 純 一	樋脇小、樋脇中、市比野小
東	水 流 信 雄	大馬越小、入来中
東	牟 禮 貞 雄	樋脇小、市比野小、樋脇中
東	村 上 眞理子	市比野小、樋脇中
東	岡 野 龍 信	蘭牟田小
東	田 島 洋 輝	祁答院中、大夷小
東	平 林 輝 美	大夷小、祁答院中
東	北 原 一 利	上手小、祁答院中

西	加 来 賢 隆	手打小、海陽中
西	小 村 昌 治	鹿島小
西	下 江 伊八郎	海星中
西	野 島 秋 彦	里小、里中
西	中 野 力 丸	長浜小

さつま	久 保 敬 作	佐志小
さつま	野 崎 華 子	宮之城小
さつま	三 腰 鈴 子	盈進小
さつま	浜 崎 典 子	盈進小
さつま	柏 木 幸 平	宮之城小
さつま	中 山 幸 男	宮之城小
さつま	東 哲 雄	鶴田小、鶴田中
さつま	木 下 賢 治	中津川小
さつま	宮 サダ子	盈進小
さつま	福 山 道 徳	求名小
さつま	水 口 憲 一	永野小、薩摩中
さつま	勝 田 俊 治	山崎小、山崎中
さつま	手 塚 良 平	流水小